

路線バス北遠本線の代替運行実施に伴う予算の流用について

1 経緯

3月9日（金）の龍山町瀬尻地内における法面崩壊により、国道152号が車両通行止め（迂回路あり）となっており、遠州鉄道㈱が運行する路線バス北遠本線も西鹿島から唐沢間の折り返し運行となっている。

同路線は、市中心部から水窪・佐久間地域へ向かう唯一の公共交通であり、地域からの強い要望があったため、代替運行に必要な経費について交通政策推進費の予算を一部流用するもの。

2 代替運行の概要

運行形態	一般貸切旅客自動車運送事業（小型バス車両等による運行）
運行区間	水窪町バス停（北遠本線の終点）から龍山町唐沢バス停まで ※遠州鉄道㈱北遠本線の運休区間
運行期間	平成30年5月14日（月）から 国道152号通行再開（北遠本線の全線開通）の日まで ※現時点で通行再開日が未定のため、契約は平成31年3月末とする
運行日	月・水・金曜日（128日） ※祝日、年末年始は運休 ※毎日運行できる交通事業者はいないため、病院等への利用を想定
運行便数	朝1往復、夕方1往復 ※朝夕とも唐沢バス停で北遠本線と接続 ※迂回路では、15分間隔の片側交互通行を実施しているため、運行時刻に最大30分のズレが生じる
運賃	無料 ※乗客からの運賃収受は道路運送法に抵触するため不可 （参考）遠鉄バス運賃（乗客が負担する運賃は同一） 18.7km以上は上限運賃のため690円 水窪町⇄西鹿島駅 約52km 690円 水窪町⇄唐沢 約32km 690円 唐沢⇄西鹿島駅 約20km 690円
契約方法	単価契約（1往復当たりの運行単価・税込） ・マイクロバス＝35,640円 ※利用状況を踏まえ、運行日の見直しや車両の小型化等により経費削減を図る
想定費用	年度末まで運行する最大のケース ・35,640円×2往復/日×128日＝9,123,840円 ※予算は、北遠本線の運休区間で運行経費削減のため不用となる補助金額以内とする
運行事業者	有限会社水窪タクシー

3 事業費（流用額＝9,124 千円）

第 36 款 土木費 第 26 項 都市計画費 第 11 目 交通政策推進費

	事業	節	細節
流用元	バス交通等対策助成事業	19 負担金補助及び 交付金	09 補助金
流用先	バス交通等対策助成事業	13 委託料	14 その他事業